

補聴器の夏のメンテナンス



もうすぐ暑い夏がやってきます。子ども達は元気に遊び回って大量の汗をかいたり、プール遊びや急な雨等の水濡れが原因で補聴器が故障することがあります。そこで、普段から補聴器の管理を適切に行い、補聴器の故障を防ぎましょう。

○汗を多くかいたとき・・・

・補聴器をはずし、補聴器と耳の周りを丁寧に拭く。

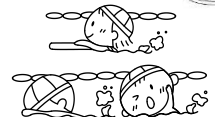
汗の湿気で補聴器が壊れることがあります。汗が多いと感じたら、補聴器と耳の周りを丁寧に拭きましょう。補聴器用の汗カバーも有効です。



○長時間使用しないときや夜寝るとき・・・

・乾燥ケースに入れる。

乾燥ケースに入れるときには、電池ボックスの蓋を開けて、中まで乾燥させてください。



○もし、補聴器を水に濡らしてしまったら・・・

1, 電池を取り出して、乾いたタオルやハンカチで水分を取り除く。

2, ドライヤーで乾燥させる。必ず**冷風**で!!



3, 補聴器ケースに入れ、点検・修理に出す。

★1年に1回オーバーホール(分解掃除)にだすのもおすすめです。

オーバーホールを希望される方は、担任か、各部の聴力測定担当者までお声がけください。

補聴器は熱に弱いため、温風をあててしまうと機械の故障につながります。

～イヤーマールドの洗浄～

イヤーマールドの洗浄にはお花紙やティッシュを細く丸めた「こより」が便利です。「こより」を使った洗浄方法をご紹介します。

1, 補聴器からイヤーマールドとチューブを取り外し、水洗いする。



2, イヤーマールドの音道やベント(通気口)・チューブに「こより」を通し、水と汚れを取り除く。



3, イヤーマールドの表面の水分を拭き取って完了。

～補聴器の電池について～

多くの補聴器に、空気亜鉛電池というものが使われています。

この電池は空気中の酸素を使って発電する電池であり、補聴器には必ず空気穴が空いています。そのため、空気穴が汗やほこり等で塞がれてしまうと、必要な酸素が取り込めず音が出なくなります。このような場合、空気穴の掃除をすると解消される場合があります。

また、新しい電池にはシールが貼られていますが、このシールを剥がしてしまうと放電が始まってしまいます。そのため、補聴器に電池を入れる直前まで、シールは剥がさないようにしましょう。



○奈良県立ろう学校でNET119の説明会がありました！

5月10日、NET119の説明や、登録の手続きのためにドーン株式会社と消防の方々が本校に来てくださいました。小学部から高等部までの児童生徒に加え、教員や保護者の方々も使い方の説明などを聞きました。また、希望者は実際にスマホにNET119の登録も行いました。

一昨年度の音・聞こえノートでも紹介させていただきましたが、「NET119緊急通報システム（ウェブ119）」とは、聴覚や言語に障害がある方のための緊急通報システムで、スマートフォンや携帯電話をインターネットに接続して、簡単な操作で素早く119番通報することができます。また、緊急通報を受けた消防から緊急通報者に身体の状態を聞いたり、消防が到着前に建物の鍵を開けるよう呼びかけたりするためにチャットによる文字対話を行うこともできます。



〈実際に登録をした中高生に感想を聞いてみました。〉

○説明を聞いて、こんなにも便利なものがあるのだと知り、登録しました。私は通話が難しいので、この機能を使えば、ケガをした人や迷子になった人など困っている人たちを助けられると思いました。

（中学部 女子生徒）

○文字の入力だけで救急車を呼べるのは良いなと思いました。（高等部 男子生徒）

○将来、万が一ケガなど何か起きた場合、アプリを使って救急車を呼べるのはすごく役立つと思いました。また、簡単な操作でできるのも聴覚障害者にとっては有り難いと思いました。（高等部 男子生徒）

ご興味ある方は是非この機会に一度調べてみてください。

○新しい補聴器のご紹介

oticon補聴器より、新しく障害者総合支援法の高度難聴用に対応する補聴器が発売されました。以前までの高度難聴用は「オーブンプレイ2PP」という名前でしたが、新しい補聴器は「G300SC」という名前になりました。

小型で、周囲360°からの自然な聞こえを届けつつ、8kHzのより広い周波数帯域で高音域にある音をより聞き取りやすくなります。（Oticon補聴器カタログより抜粋）

保障期間は2年で、色は本体の色のみ12色から選ぶことができます。

（フックの色は選べません。）

Bluetoothにも対応しており、スマートフォンとの接続も可能です。そのことにより、スマートフォンからの音を直接ストリーミングすることができます。動画や音楽を楽しみたい方にはおすすめの機能です。

詳しくは、oticonのホームページを見ていただくか、補聴器屋さんにおたずねください。



画像提供：オーティコン
補聴器